

学校だより

令和5年3月17日

磐田市立南部中学校

みどりの子ら 校訓:自立 創造 奉仕



【学校教育目標】 自ら学び 共に生きる たくましい生徒

文責：金原

『比較すべきは、過去の自分』 ～修了式 校長式辞～

昨日、3年生が堂々と胸を張って、そして笑顔で南部中を卒業し、巣立っていきました。皆さんにその姿を見てもらうことができなかつたのは残念でしたが、立派で感動的な卒業式を迎えることができたのは、在校生の皆さんが心を込めて様々な準備や行動をしてくれたおかげです。本当にありがとうございます。ただ、3年生がいなくなったこの体育館はやっぱり少し寂しいですね。

さて、ただ今1年生、2年生のそれぞれの代表に「学年の課程を修了したことを証する」と記した、修了証書を渡しました。この修了証書は皆さんのこの1年間の学習や生活の頑張りを認めるとともに、次の学年へ進むことができますという証明です。何気なく次の学年に進むのではなく、階段をひとつひとつ上がるようにして一年一年、次のステップに進んでいるのです。代表以外の生徒の皆さんは、この後担任の先生から1人1人手渡して渡されると思いますが、そのことの意味と、通信票に記入されている担任の先生からの心のこもったメッセージをしっかりと受け止めて、前向きに次の学年へ進級して下さい。

今年度私は皆さんに、「失敗を恐れず、様々なことに積極的に挑戦すること」、「自分の意志や判断に基づき、主体的に行動し、自らの可能性に気付き、広げていくこと」を求めてきました。学年や担任の先生からも言われてきたと思います。この1年間皆さんにはどんな挑戦や主体的な取組があったでしょうか。4月の自分と今の自分を比較してみた時、どのような成長を実感できているでしょうか。

大手電機メーカー、パナソニックの創業者である松下幸之助さんという人が、節目の日について次のような言葉を残しています。「他人と自分を比較して仮に劣っていても決して恥ずることではない。けれども、去年の自分と今年の自分を比較して、もし今年の自分が進歩していないとしたら、それこそは恥ずるべきことである」と。私たちは、どうしても自分と他人との違いは気になってしまうものです。しかし、本当に比べるべきは他人ではなく、過去の自分だと松下さんは言っているのです。今日は、自分の一年間を振り返り、それ以前の自分と比べ、どれほど成長できたかを客観的に見つめ直す日にして下さい。

明日から20日間の春休みとなりますが、この春休みが1年生は、4月から先輩になり、3年生を支え、1年生のよき手本となるという自覚を、そして2年生は名実ともに南部中学校の顔となり、下級生を引っ張り、先輩たちが創ってくれた南部中の伝統を受け継ぎ、さらに発展させていくという思いを持つ、そんな時間になってくれることを期待します。充実した春休みを過ごして下さい。

『一隅を照らす』

「利他の心」素晴らしい！



天台宗の開祖、最澄の言葉

「一人ひとりが自分のいる場所で、自らが光となり周りを照らしていくことこそ、
私たちの本来の役目であり、それが積み重なることで世の中が作られる。」

学級	氏名	受賞理由等
1年1組	山田 泰豊	誰に対しても笑顔で優しく接するとともに、級友の仕事を進んで手伝い、クラスを支えました。
1年2組	高橋 幸子	昼食で使ったストロー袋を一人ひとり回収したり、困っている級友に声を掛けたりするなど、周囲を気遣って行動しました。
1年3組	川越 イヤシ	周囲への気配りを大切に、仲間の様子に合わせて言葉を掛けたり、手助けをしたりするなど、思いやりをもって生活しました。
1年4組	キセル ジェイド	奉仕委員の活動に熱心に取り組むとともに、欠席した仲間の仕事も率先して行い、学級の内外を問わず献身的に活動しました。
1年5組	中村 壮志	学級の誰よりも大きく元気な声で挨拶をし、集団の雰囲気明るく前向きなものにしました。
2年1組	鈴木 涼太	給食委員の仕事に責任をもって取り組むとともに、積極的な発言で授業をより良い方向へ導きました。
2年2組	出野 香実	係の仕事や課題など、何事にも常に丁寧に行うことを心がけて生活しました。
2年3組	宮内 莓果	毎日花瓶の水替えをし、美しい花を咲かせることで潤いのある学習環境をつくるなど、何事にも誠実に取り組みました。
2年4組	磯部 涼帆	困っている級友に手を差し伸べたり、頼まれたことを快く引き受けて手伝ったりするなど、学級の頼れる存在でした。
2年5組	鈴木 愛士	係の仕事や配膳の準備など、自分の役割ではない仕事も率先して行い、縁の下での力持ちとして学級を支えました。
3年1組	鈴木 迅汰	自分の仕事に誇りを持ち、主体的に活動するだけでなく、学級のための活動を企画し、温かな雰囲気づくりに貢献しました。
3年2組	半田 睦貴	常に学級の様子を気にかけて、悩んでいる級友に声を掛けて手助けをするなど、全体のために行動しました。
3年3組	鈴木 煌也	生活委員として、自ら一人ひとりに大きな声で挨拶をすることで、学級の仲間同士で挨拶しやすい雰囲気をつくりました。
3年4組	山田 優奈	給食の準備の際に、誰よりも早く配膳台を用意するなど、学級のために全力で役割を果たしました。



3月18日(土)~4月6日(木) ※20日間
次に会うときは、学年が1つ上がっていますね。
新たな決意と目標をもって、笑顔で登校する
皆さんと再会するのを楽しみにしています！